

# 福岡県立福岡聴覚特別支援学校【令和6年度 グランドデザイン】

## 校訓

よく見  
よく聴き  
よく話し  
よく考え  
行動しよう



「ふくまる」

## 目指す子どもの姿

- ① 主体的に学び、行動する子
- ② 自分の考えを表現できる子
- ③ 他者を思いやり、自分を大切にする子

## R6スローガン

**C**hallenge  
(チャレンジ)

**C**ommunication  
(コミュニケーション)

**C**hance  
(チャンス) 「ふくた」



## スクール・ミッション

聴覚に障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた、一貫した適切な指導や必要な支援を通じて、自立し社会参加できる力を育成する。

専門性の発揮

重度・重複化、多様化への対応

センター的機能の発揮

## 学力・言語力の向上

【目標】自分の考えをもち、言葉で表現する

- ・学校生活全般における「確実に伝え合い、分かり合うこと」を前提とした学習、活動の実践
- ・基礎・基本に重点を置いた指導内容の精選
- ・豊かなコミュニケーションと授業における言語活動の充実(言語力・書記日本語の育成)
- ・幼稚部～中学部までの系統的で一貫した教育の推進

- ・体験的活動、問題解決的な学習を取り入れた授業
- ・発問やアウトプットを重視した授業
- ・ICTを活用した「分かる」授業
- ・各教科との関連をもたせた自立活動の指導
- ・縦(学部・学年)横(教科・領域)のつながりを踏まえた授業及び活動

## 豊かな心の育成

【目標】自分から進んであいさつをする

- ・自分に自信をもち、人を大切にする心の涵養
- ・社会で必要なルールやマナーの指導
- ・係、委員会、生徒会活動を中心とした自主性・責任感の育成

## 体力の向上

【目標】楽しく食べて楽しく運動する

- ・健康で規則正しい生活習慣の確立
- ・給食を核とした食育の充実
- ・正しい姿勢と、しなやかでたくましい体づくり

## 指導・支援の基本

- ・目標に向かって取り組ませ、できている・努力していることを認める(認め合う)。
- ・一人一人のよい点や可能性、進捗状況、障がいの特性に応じた指導を工夫する。
- ・子どもの聴覚障がいの状態等に応じて、音声、文字、手話、指文字等を適切に活用する。
- ・子どもの実態・指導方法について共通理解を図り、組織で支援する。



「フク」

## 指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・学部間の連携と組織的な対応・積極的生徒指導による学級・学部経営・交流及び共同学習
- ・地域・関係機関(医療、福祉、行政等)との連携・外部専門家の活用(SC他)
- ・家庭・保護者との密接な情報交換・連携・教員の専門性の向上(主題研究、校内外の研修)

## 安全・安心を守る

- ・危機管理マニュアルの周知徹底と安全教育
- ・いじめの早期発見・早期対応、人権・同和教育
- ・日常的な安全点検と環境美化・整備

## 開かれた学校づくり

- ・積極的な情報発信(HP、SNS、通信、授業公開)
- ・センター的機能の発揮(教育相談、出前授業)
- ・外部評価等を活用した教育活動の改善